

2023年度選抜・2024年度選抜「英語資格・検定試験（4技能）」の
活用に関する Q&A

Q 1：2024年度入学者選抜（一般選抜）では、すべての志願者が、英語資格・検定試験の結果を提出する 必要がありますか？

A 1：英語資格・検定試験の成績の提出は、任意です。2024年度入学者選抜要項（2023年度公開予定）、及び、2024年度の学生募集要項（2023年度公開予定）をご確認ください。

Q 2：2024年度入学者選抜で活用可能な英語資格・検定試験は、何ですか？

A 2：2024年度入学者選抜要項（2023年度公開予定）、及び、2024年度の学生募集要項（2023年度公開予定）の「本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）一覧」をご確認ください。なお、現時点では、2023年度入学者選抜要項を参考にしてください。

Q 3：2024年度入学者選抜（一般選抜）で英語資格・検定試験を活用したいと考えていますが、文部科学省が公表している「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」を利用しますか？

A 3：文部科学省が公表したものに準じて作成していますが、具体的な取り扱い等は本学が定めています。2024年度入学者選抜要項（2023年度公開予定）、及び、2024年度の学生募集要項（2023年度公開予定）の「本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）一覧とCEFR相当レベルとの対照表」をご確認ください。なお、現時点では、2023年度入学者選抜要項を参考にしてください。

~~Q 4：2024年度入学者選抜（一般選抜）でC1以上のスコアを取得し、成績表提出した場合は、個別学力検査（英語）は免除になりますか？~~

~~A 4：2024年度一般選抜学生募集要項（2023年度公開予定）等にてご確認ください。~~

Q 5：2023年度入学者選抜要項に「実用英語技能検定（英検）については、英検CSEスコアを活用します。級の合否は活用しません」とありますが、日本英語検定協会の実用英語技能検定（英検）の場合、どの級を受験しても、CSEスコアが2,600以上の場合、C1レベルとみなされますか？

A 5：「実用英語技能検定」では、それぞれの試験（級）が CEFR との対照関係として測定できる能力の範囲（算出範囲）が定められています。当該範囲を下回った場合には CEFR の判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられている CEFR の判定が行われることになっています。本学でも、同様の取扱いをします。

つまり、それぞれの試験（級）が対象としている CEFR 相当レベルの算出範囲は、次のとおりです。

英検 1 級： 2,304-3,299 (B2、C1)

英検準 1 級： 1,980-2,599 (B1、B2)

英検 2 級： 1,728-2,299 (A2、B1)

英検準 2 級： 1,400-1,949 (A1、A2)

英検 3 級： 1,400-1,699 (A1)

（参考）英検「4 技能総合 CEFR の算出範囲」

<https://www.eiken.or.jp/cse/>

すなわち、2024 年度入学者選抜（一般選抜）で C1 スコアの提出を目指す場合は、英検 1 級を受検してください。

2023 年度入学者選抜（総合型選抜）ディスカバリー入試で「記述問題（英語）」の見なし満点（試験免除）（B2 以上（2,300 以上））を利用する場合は、英検 1 級もしくは準 1 級のスコアを提出してください。

同様に、ケンブリッジ英語検定についても、CEFR との対照関係として測定できる能力の範囲（算出範囲）が定められています。

CEFR 相当レベルの算出範囲は、次のとおりです。

C2 Proficiency： 180-230 (C1、C2)

C1 Advanced： 160-210 (B2、C1、C2)

B2 First / B2 First for Schools： 140-190 (B1、B2、C1)

B1 Preliminary / B1 Preliminary for Schools： 120-170 (A2、B1、B2)

A2 Key / A2 Key for Schools： 100-150 (A1、A2、B1)

（参考）Cambridge English スケールと各試験のスコア比較表

<https://www.cambridgeenglish.org/jp/Images/635508-ceq-and-the-cambridge-english-scale-generalleaflet20210908.pdf>

その他の英語資格・検定試験については、「本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）一覧と CEFR 相当レベルとの対照表」をご確認ください。

Q 6：2023年度入学者選抜要項を見ていますが、実用英語技能検定（英検）Ⅰ級の場合で、一次試験合格、二次試験を受験したが不合格になった場合であっても、CSEスコアが2,600以上であれば、CIレベルと判定されますか？

A 6：「実用英語技能検定（英検）については、英検 CSE スコアを活用します。級の合否は活用しません」としており、CIレベルと判定されます。

Q 7：2023年度入学者選抜要項を見ていますが、実用英語技能検定（英検）の場合で一次試験不合格となり4技能が測れていないものを、出願書類として提出した場合、受理されますか？

A 7：「1次試験で不合格になった場合等4技能が測れていない「成績証明書」は活用しません」としており、受理されません。

Q 8：2023年度入学者選抜要項において、英語資格・検定試験は、「本学を受験する年度の前年度の4月以降に受験したもの」とありますが、現役生では高校2年生の4月以降ということですか？

A 8：2024年度入学者選抜（2023年度実施）の場合、2022年4月以降に受験したものととなります。ただし、ディスカバリー入試（総合型選抜）については、2023年度入学者選抜（2022年度実施）の場合2020年9月以降、2024年度入学者選抜（2023年度実施）の場合2021年9月以降に受験したものととなります。

Q 9：英語資格・検定試験の有効期間は、「本学を受験する年度の前年度の4月以降に受験したもの」とされています（ディスカバリー入試（総合型選抜）を除く）。実用英語技能検定（英検）で、例えば、「2022年4月以降の受験が有効」とされている入学者選抜のケースで、質問します。2021年12月に英検を受験した結果、1次試験合格、2次試験不合格となりました。2022年4月1日以降に再度受験（1次試験免除）した結果、2次試験に合格しました。4技能が測れていますので、入学者選抜の出願に活用するための出願要件を満たしていますか？

A 9：上記の場合、英検の「合格証明書（和文）」もしくは「英検 CSE スコア証明書」の受験日が、本学が定めている有効期間内（本学を受験する年度の前年度の4月以降に受験）となるので出願要件を満たしています。

Q10：一般選抜において英語資格・検定試験の成績を活用する者は、大学入学共通テストにおいて外国語の受験は必須ですか？

A10：科目登録（9月下旬～10月上旬）及び試験日当日の受験（1月中旬）ともに必須です。

Q11：一般選抜において英語資格・検定試験の成績を活用する者は、大学入学共通テストにおいて外国語の受験を必須とする理由は何ですか？

A11：各学部等が指定する大学入学共通テストの科目を受験することを出願資格としているからです。大学入学共通テスト試験当日の「外国語」を必ず受験しておいてください。大学入学共通テストの「外国語」を受験していない場合は、出願資格を満たしません。

なお、本学での取り扱いを決める際に考慮した観点として、「英語資格・検定試験の成績を、出願期間時に提出していただくことになるため、万が一英語資格・検定試験の成績の活用が認められなかった場合、大学入学共通テスト受験科目不足により多くの大学で受験資格を失うことを防ぐため」もあり、総合的に判断しています。

Q12：一般選抜において英語資格・検定試験の成績を活用する者は、大学入学共通テストの「外国語」において、英語以外の科目（独・仏・中・韓）を受験しても、英語の成績が満点と扱われますか？

A12：各学部等が指定する大学入学共通テストの科目において「独・仏・中・韓」が認められている場合、出願資格を満たすため、英語を受験したこととし、満点と扱います。

※現在、受験科目において「独・仏・中・韓」を認めていないのは医学部保健学科看護学専攻のみ。

Q13：一般選抜において英語資格・検定試験の成績を活用し、試験日当日の個別学力検査において外国語の受験が免除された者であっても、希望すれば外国語の試験を受験できますか？

A13：個別学力検査の試験日当日の「外国語」は、受験できません。「外国語」の次の試験時間に間に合うよう集合してください。

Q14：一般選抜において英語資格・検定試験の成績の活用を認める（又は認めない）旨の通知はいつどのように届きますか？

A14：本学が願書受理後、審査を行います。その審査が終わり次第、「英語資格・検定試験の活用を認める（又は認めない）旨の通知」を書留で郵送します。

更新履歴 2022.08.05 公開 Q 1 ~ Q 8
2022.09.14 更新 Q 9
2023.06.12 更新 Q 4 削除
公開 Q 10 ~ Q 14

本 Q&A は、必要に応じて追加します。